

平成25年度 南あわじ市学校業務改善の取組報告

南あわじ市教育委員会

I 委員会組織

- 名称：南あわじ市教職員の勤務時間適正化委員会（年間3回）
- 委員：中学校校長代表（委員長）、小学校校長代表（副委員長）
小学校教頭代表、中学校教頭代表、教職員代表、事務職員代表、
学校教育課長、学校教育指導主事
＊新対策プラン推進校より代表5名（第2回のみ）

II 平成25年度の重点目標

- 1 教職員定時退勤日の週1回の設定と月2回以上の完全実施
- 2 市内教職員の連絡体制を整える。（メールアカウントの全員取得）
- 3 フォルダ階層の統一（事務の「文書分類表」に合わせる）
- 4 教職員の勤務時間適正化検討委員会の各校での設置
- 5 学校ルールブックの作成
- 6 校務支援ソフトの導入の検討
- 7 学校支援地域本部事業の活用を全学校に広める。
- 8 人事評価・育成システムの項目に「所属教職員の勤務時間の適正化」を設定する。

III 今年度の成果と課題

- 定時退勤日がほぼ完璧に実施され、同時に教職員に精神的なゆとりが出てきている。
- 校内の学校業務改善委員会を開き、課題が明確になったことで、取組が進んだ。
- 会議時間の短縮の意識が高まり、職員会議は勤務時間内にほぼ終了している。
- グループウェア活用（「グループセッション」の利用）による、校務・業務の効率化、ペーパーレス化。ただし、重要な案件については声かけをする。
- 空き時間の有効活用により、子どもと向き合う時間が増え、基礎基本の定着に取り組んでいる。
- 使えるルールブックに改訂した。
 - 通常の日は、依然として長時間の時間外勤務の実態が見られる。（若い教員に多い）
 - 仕事を持ち帰る教師が増えた。
 - 紙の利用に慣れており、多忙化解消にむけた情報機器の有効活用に課題がある。
 - 校務系のフォルダー内が個々の整理方法になっているため、ファイルの保存方法に課題がみられる。
 - メールアカウントは全員取得したが、活用が進んでいない。
 - ノ一部活デーや終了時刻の設定の趣旨が保護者や生徒に理解されにくい。

IV 今年度後半の取組について

- ①平成25年度重点目標について、さらに進めていく。
- ②メールについては、アカウントを取るだけに終わらず、実際に活用していく。
- ③ルールブックの作成を進めていく。
（県教委HP『教職員のための教育総合サイト』、推進校のルールブックをモデルに）